

## 国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成 29 年度第 7 回）議事録

日 時：平成 29 年 10 月 27 日（金） 10：00～11：30

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第 1 会議室

出席者：中釜斉理事長、間野博行理事、南砂理事、松本洋一郎理事、児玉安司理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：門田守人理事

### I. 前回（平成 29 年度第 6 回）議事録の確認

- ・ 前回議事録について了承。
- ・ 議事録署名人を間野理事と増田監事に依頼。

### II. 審議事項

- ・ なし

### III. 報告事項

1. 6 か年計画・30 年度予算に向けた「目指す方向」等資料に沿って報告された。

2. 公的医療機関等 2025 プラン資料に沿って報告された。

3. 中央病院における病理装置の不具合資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・ 難しい事案だが、迅速で適切な対応をしている。
- ・ 患者に対しては、抗がん剤選択等に及ぼす影響が低いと考えられる旨がわかるように説明したほうがよい。通常の化学変化の中で生じ得るということも、一つの要素ではないか。
- ・ 再検査の費用については、一連の医療上必要な再検査であることから、保険診療として保険者に請求し、患者負担分は病院が負担した上でメーカーに請求することが考えられるのではないか。保険者は、必要であれば第三者求償することになる。
- ・ 今回の事案に限らず、患者への影響が大きい事案や公表事案については、組織内の報告・意思決定に関するルール、ルート、様式などを決めておくことが必要。監事への迅速な報告も重要。
- ・ メーカー報告書は、設計や情報提供等の責任に関し問題があり得るのではないか。

当センターへの協力依頼は不適當ではないか。

- ・今回事案への対応によって検査の効率が落ちないように留意すべき。

4. 全国がん登録情報提供等審議委員会の設置（前回報告の修正）

資料に沿って報告された。

5. アジア各国による早期新薬開発連携協力（Asia One）の覚書

資料に沿って報告された。

6. 国際がん研究機関（IARC）との包括協力覚書

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・海外の機関と協定を結ぶ際には、知財、著作権等について、関連部門による確認が必要。

7. インドネシア国立がんセンター（ダルマイス病院）との包括協力覚書

資料に沿って報告された。

8. 平成 28 年度業務実績評価結果

資料に沿って報告された。

主な意見等

- ・医療提供がB評価とされていることについては、評価する側の課題も考えられるのではないか。

9. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

10. 政府の会議の状況等

資料に沿って報告された。

11. 広報実績

資料に沿って説明された。

12. 9月分月次決算

資料に沿って説明された。